

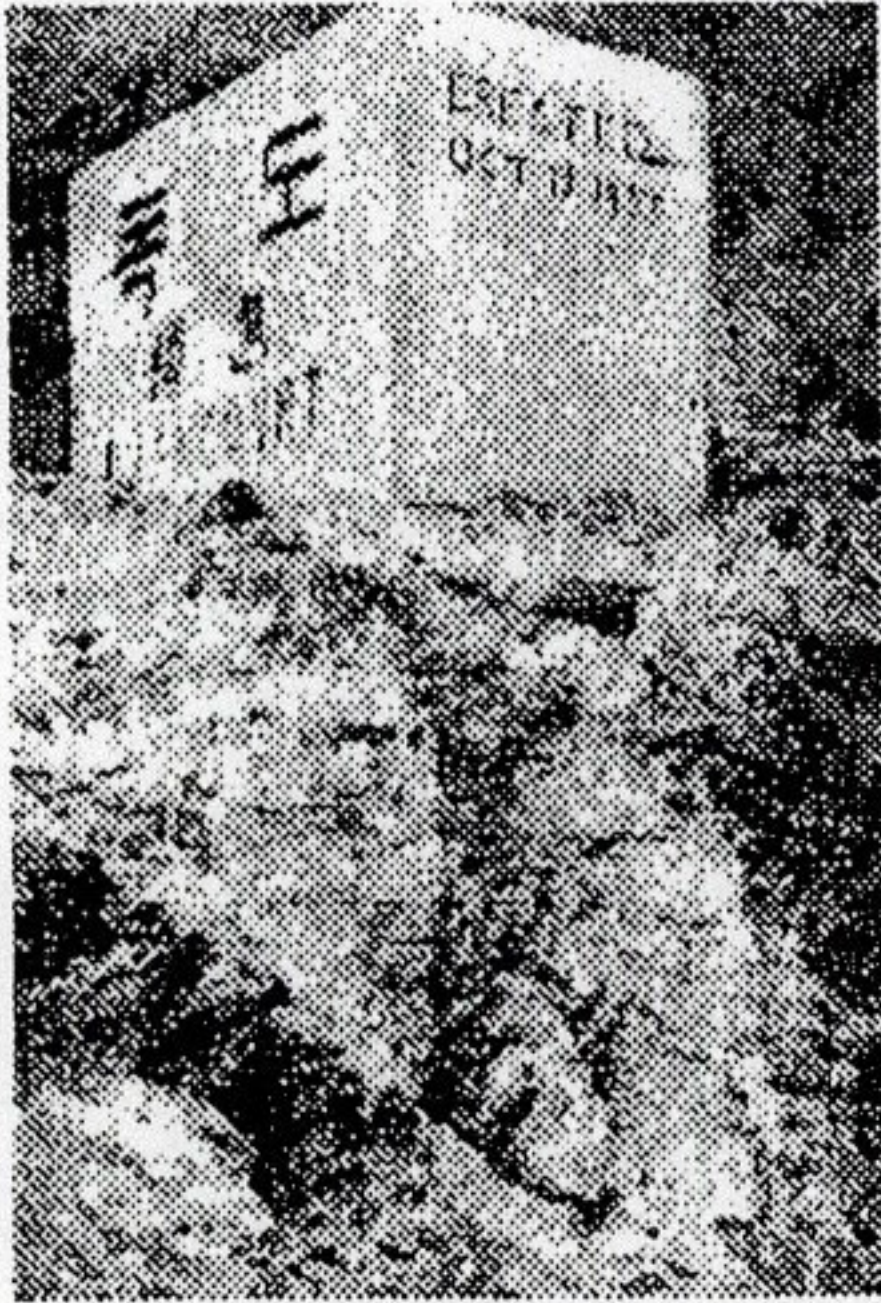
竹島に韓国側の標石

島根県水産
試験船確認

測量ポールなど散在

【島根県水産試験船島根丸にて渡辺記者発】日韓会談決裂の二十一日、対馬暖流を調査中の島根県水産試験船島根丸、新井登司船長は竹島を訪れ、記者は同島に上陸、東島南側の砂利浜で去る十五日韓国が立てた標石を発見した。

長さ一七〇の「独島遭難漁民慰霊碑」で、米軍の誤爆によって同島に出漁中の韓国人十四人が死亡、または行方不明となった標石を慰めるために同国慶尚北道知事が立てたものだ。碑の左側の岩の上



にコンクリートで固めた縦五〇センチ、横二〇センチ、高さ二五センチの御影石の標石を発見、

URT」と刻まれてあり、一九五二年八月十五日韓国アルペン(登山)協会が同島を訪れたのを記念し、去る十五日に建立したもので、日本側で立てた標柱のかわりに韓国領土であることを示したのもと思われる。韓国調査団が訪れて間もないものとみえ、米国製煙草のすいがらや、空箱、フィルム箱、赤白の測量ポールなどがところどころに散在していた。東島の頂上には四本の測量ポールが立っていた。「島根県穂地郡五箇村竹島」の標柱は引き抜かれたらしく、ここにも見当らなかった。

写真は去る十五日韓国が立てた竹島の標石、大阪電送